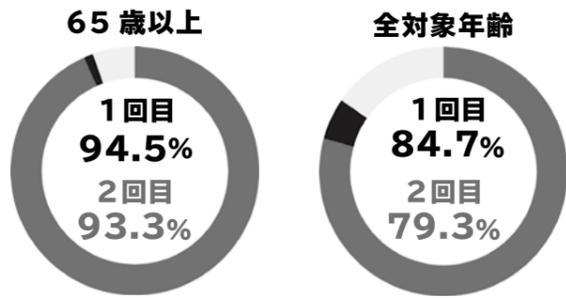




■千歳の新型コロナウイルスワクチン接種率 (10/24時点)



R3.3.31 現在 (住民基本台帳) の人口で算出



◀認証を満たした店舗には《認証書》が交付され、店舗に掲示されます。

飲食店の《第三者認証制度》をご存知ですか？

北海道は、新型コロナウイルス感染防止対策がとられている店舗に《お墨付き》を与える《第三者認証制度》を実施しています。調査員が、「座席どうしの間隔の確保」「飲食時以外のマスク着用などの注意喚起」「手指消毒の徹底」「換気の徹底」など28項目の取組状況を確認し、実施されている店舗に認証します。市内では、10月15日から申請を受け付け、10月21日時点で49件の店舗から申請があり、順次調査が行われています。



▲座席の間隔が、1メートル以上離れているかを確認する調査員



▲感染防止対策の実施が確認されると、その場で認証書が交付されます。



2回目までの接種率
市は、7月以降、新千歳空港での大規模接種や、集団接種を継続的に実施しています。
また、9月からは中学生以下を対象とした集団接種を実施し、11月末には希望する市民全員のワクチン接種を完了する見込みです。
10月24日時点で、12歳以上の市民の84・7%が1回目の接種を受けており、79・3%の方が2回目の接種を完了しています。

集団接種を一時お休みします

市内でのワクチン接種が進み、接種を受ける方が少なくなったため、現在、2か所で実施している集団接種会場(イオン千歳店、千歳タウンプラザ)を11月末で、一時お休みします。12月以降も医療機関でワクチン接種を受けることができますが、規模を縮小するため、日曜日の接種ができなくなります。日曜日や集団接種会場での接種をご希望の方はお早めにご予約ください。なお、集団接種会場におけるワクチン接種は、3回目のワクチン接種が本格化する来年2、3月ごろに再開する予定です。



イオン千歳店

千歳タウンプラザ

電話予約 & 問い合わせ先
千歳市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
☎ 0570-023-600 (平日 9:00 ~ 18:00)
※耳やことばの不自由な方は FAX 24-8418 へ



接種の対象者は？
3回目のワクチン接種に関する詳細は、現在、国で検討中ですが、2回目の接種からおおむね8か月以上を経過した方全員が対象となる予定です。
国は、早ければ年内に3回目の接種をはじめますが、千歳での接種は、来年2、3月ごろから本格化する見込みです。

◀3回目接種の《接種券一体型予診票》イメージ
2回目接種終了後に転入した方は、申請が必要です。申請に必要な書類などは決まり次第広報・ホームページでお知らせします。

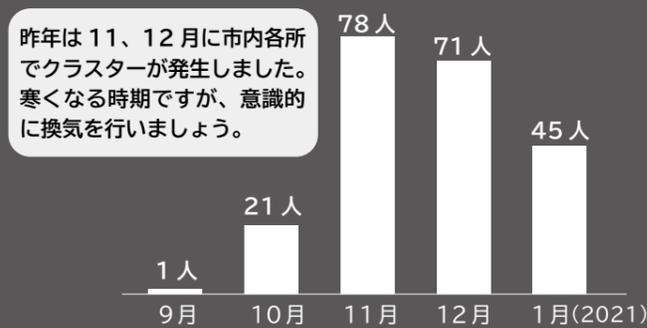
新型コロナウイルス感染症関連情報
3回目のワクチン接種について

新型コロナウイルスのワクチン接種は、接種から時間が経つと予防効果が低下することが国内外で報告されており、一部諸外国では、2回の接種を終了した方に対し、3回目の接種を行っています。日本においても、感染予防効果などを高めるため、新型コロナウイルスワクチンを2回接種した人を対象に、3回目の接種を実施する方針が決まっています。ここでは、3回目接種のあらましについてお知らせします。

ワクチン接種までの流れ

- 1 市から「接種券一体型予診票」を個別送付**
登録された接種情報をもとに、対象者を抽出し、3回目接種の対象となる《前月》に《接種券一体型予診票》を送付します。《接種券一体型予診票》には《接種済証》が付いていますので、切り離さず保管してください。
- 2 接種の予約**
市から《接種券一体型予診票》が届いたら、1、2回目の接種と同様、電話かインターネットでワクチン接種の予約をしてください。電話で予約する方は、接種券に同封している案内文書をご確認のうえ電話してください。
※来年1月ごろ、コールセンターの電話番号をフリーダイヤルに変更する予定です。
- 3 接種**
接種会場には、①接種券一体型予診票 (接種済証が付いていますので切り離さずそのまま)、②本人確認書類、③お薬手帳 (お持ちの方)、④母子健康手帳 (18歳以下の方) を持参してください。寒い時期の接種となりますが、接種の際にすぐに肩をだせるよう、来場時の服装に配慮願います。(肩を出せる薄手の服の上に暖かい上着を着るなど)

■昨年の市内新規感染者数の推移



昨年は11、12月に市内各所でクラスターが発生しました。寒くなる時期ですが、意識的に換気を行いましょう。

冬の第6波に備える
現在、市内の感染者数は、1週間あたりの新規感染者数がゼロの週もあり、低い値で推移しています。しかし、秋の行楽シーズンを迎え、その先には人流が活発となる年末年始を控えているため、《冬の第6波に備える》ことが重要です。
施設の利用、イベント・学校行事など社会経済活動は少しずつ再開していますが、引き続き感染防止対策を徹底し、感染防止と経済活動の両立を図っていかねばなりません。